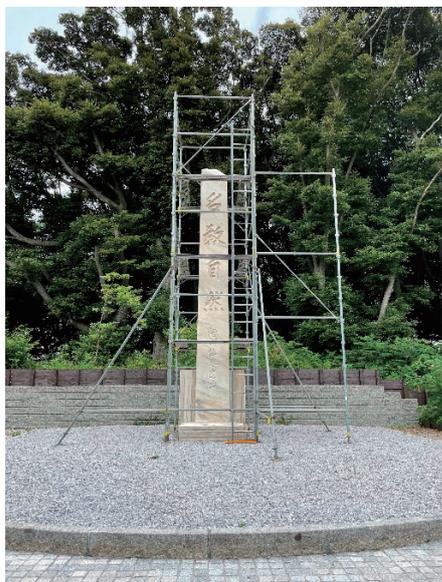


## 理工系創立100周年記念事業報告

横山幸男

理工系創立100周年記念西門周辺整備事業が完了の暁には、その顛末を本誌にて報告すると2年前もから言ってきたのですが、未だ皆様に胸を張って報告できるような状況にないので、いったん今回で区切りをつけようと思います。100周年記念事業は総予算額2500万円のうち理工系同窓会が1600万円を拠出、そのうち国大化学会は160万円を負担しました。創立から正真正銘100年を迎えたのは機械と応化・電化の3学科ですが、実行委員会に化学EPからどなたも入っていなかったことに違和感を持ったことを思

い出します。昨年報告した通り、2021年1月に理工系100周年記念誌を発行、一年遅れの同年11月に教育文化ホールにて規模を縮小した記念式典（当初は横浜ベイシェラトンにて盛大に行われる予定でしたが）および記念講演会（吉野彰氏）が挙行されました。名教自然碑の周辺整備と光触媒（藤嶋昭先生の発見）の施工は順調に推移し、下の写真にあるとおり2021年に完了しました。施工後は何となく明るくきれいになった気がします。



光触媒施工足場（2021年6月23日撮影）



光触媒施工完了（2021年7月21日撮影）

### 西門周辺整備事業デザインコンペ最優秀賞



西門予想図



国大西バス停留所予想図

いっぽう、西門周辺整備事業は遅れに遅れ、コロナ禍やウクライナ戦争の影響による資材・エネルギーの高騰や人手不足などが一因かと思われませんが、西門から国大西バス停に至る屋根付き回廊（上図右）の建設は夢の話と消えてしまいました。また、西門周辺（予想図は上左）の現況は下の写真に示したとおりで、実行委員会からは提供された整備前後の写真（次ページ）をもって、これで完成との報告がありました。これで相当のお金をかけた整備ということに、皆様はどのような感想をいただけるでしょうか、何がどう変わったのか変わらなかったのかを簡単に紹介しておきます。

①公道を隔てて外から見た西門は、エントランスが中古化粧タイル張りに、車止めが移設整備され、

- 正面YNU看板の上にあった邪魔な植え込みが撤去され、大学名のプレートが更新されました。
- ②景観を損ねる警備員小屋を門内側に移設する計画は、大学の予算が立たずにそのまま放置となりました。
- ③門扉は常盤台移転以来の重量級フェンスが軽量の物に交換され、内側の歩道にあった化粧タイルは撤去されました。
- ④理工系同窓会の寄付により整備された旨を示す銘板が、駐輪場側門壁の下部に設置されました。
- ⑤バスロータリーの風景は相変わらずで、先に述べたとおり屋根付き回廊の建設は夢と消えました。ただし、まだ予算が若干残っているそうなので、いずれ国大西バス停に屋根の付く日が来ることを念じておきます。

### 西門周辺の今（2023年6月15日）



# 理工系創立100周年西門整備工事

## 改修前後写真

Before → After

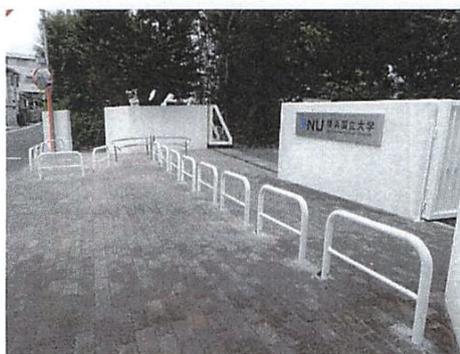
西側外観



東側外観



車止めポール  
移設



植込撤去  
サイン移設

